

洛西ニュータウンアクションプログラム 概要版

平成 29 年 3 月

来て・観て 住み続けたくなるまち洛西ニュータウン！

●発行
洛西ニュータウン
アクションプログラム検討会

I アクションプログラム策定の趣旨など

<アクションプログラム策定の趣旨・計画期間>

洛西ニュータウンでは10年前に、少子高齢化等によるまちの活力低下を見据え、いち早く「まちづくりビジョン」が策定されました。

これに基づき、様々な活動が行われてきましたが、現状において、人口減少・少子高齢化などの課題が顕在化してきており、改めて、まちの活性化を目指すため、社会状況の変化やこれまでの取組等を踏まえ（Ⅱ）、まちを次世代に引き継いでいくという「まちづくりビジョン」の理念を踏襲しつつ、取組の方向性を定め（Ⅲ）、今後喫緊に実施していくべき具体的な事業等（Ⅳ、Ⅴ）を取りまとめるものです。

<アクションプログラムの策定主体、計画期間、関連計画>

- ・地域住民・団体、事業者、行政等で組織された「洛西ニュータウンアクションプログラム検討会」が平成28年度末に策定
- ・計画期間は平成29(2017)～32(2020)年度の4年間
- ・関連計画：西京区基本計画（平成23(2011)～32(2020)年度）、西京区・洛西地域の新たな活性化ビジョン（平成28年12月）、京都市住宅マスタープラン（平成22(2010)～31(2019)年度） など



洛西ニュータウンアクションプログラム検討会

<洛西ニュータウンの概要>

事業手法	新住宅市街地開発事業
事業主体	京都市
入居開始	昭和51（1976）年9月
面積	260.7ha
計画人口	40,900人
現人口	22,899人
現人口割合	15歳未満 8.9%（市11.0%）， 65歳以上 37.3%（市25.8%）

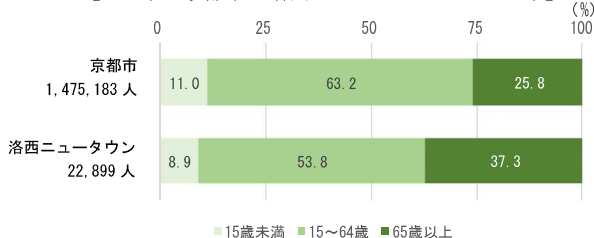
※ 平成27年国勢調査

現世帯数 9,895世帯

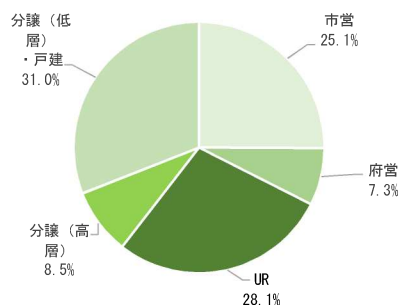
計画戸数
建設戸数

10,900戸
10,869戸
市営2,725戸（25.1%）
府営799戸
UR3,052戸
分譲（高層）928戸
分譲（低層）・戸建3,365戸

【H27年 京都市と洛西ニュータウンの人口比率】



【洛西ニュータウン建設戸数の比率】



<洛西ニュータウンまちづくりビジョン(H18(2006).11)の概要>

目指すまちのすがた

「緑とゆとりを守り、各世代が支えあい心豊かに共生できるまち」

洛西ニュータウンでは、美しい自然や風景、ゆとりのある緑豊かなまちを守り、育て、次世代に引き継いでいくとともに、各世代がお互いに支えあい交流しながら心豊かに共生するまちを目指します。

まちづくりの目標

- 「1 美しい風景や自然の豊かさを体感できるまち」
- 「2 豊かで自立した生活をすごせる住まい」
- 「3 みんなで守り育てるまち」
- 「4 便利で活気あふれるまち」
- 「5 みんなで支え合いこころ豊かに安心してすごせるまち」
- 「6 元気に交流し魅力を発信するまち」

II 現状(課題・資源・社会状況の変化)

課題

- ・ 市平均を上回る人口減少・少子高齢化の進行
- ・ 若年層の流出等により、ニュータウン内の小中学校児童数の減少
- ・ 住宅などの老朽化・空き家の増加
- ・ 公園やサブセンターの魅力低下 等

まちづくりの資源

- ・ 緑あふれ、計画的に利便施設が配置された住環境
- ・ 大枝・大原野地域等の農業資源や観光資源
- ・ NPO法人などの住民・地域組織がまちづくり分野等で活動 等

社会状況の変化

- ・ 京都第二外環状道路の開通
- ・ 洛西口～桂駅間高架下プロジェクトの進捗
- ・ 情報化社会の進展 等

アクションプログラム検討の視点

- ・ このままでは、今後更に人口減少・少子高齢化傾向が強まることが想定される。
- ・ 高齢化が進む中、まずは、住民が安心して暮らせて、みんなが生き生き活躍できるまちづくりが引き続き必要ではないか。
- ・ 更には、ニュータウン外から、特に若者・子育て世代といった若年ファミリー層の呼び込み・定住促進を図ることが必要ではないか。
- ・ そのためには、若い世代が訪れたいくなるようなまちの魅力の充実とともに、働く場所の創出などに取り組み、合わせてその情報発信をしていくことが必要ではないか。



まちづくりトーク

III 取組の方向性

【アクションプログラムのキャッチフレーズ】

来て・観て 住み続けたいくなるまち 洛西ニュータウン！

まちづくりビジョンにおける「目指すまちのすがた」を基本としつつ、高齢者や障害者、子育て層等がより暮らしやすくなる取組を充実するとともに、特に若年ファミリー層の呼び込み・定住促進を実現する具体的な取組を進めます。

住民が安心して住み続けるための 取組

～子ども安心・健康長寿のまち～

住民の方々が安心して豊かに生活を送る、そして、いつまでも生き活きと活躍するための取組

基盤
(方針1)

サービス
(方針2)

2つの視点
から展開する
取組を
両立・調和

訪れる人にも
住む人にも
魅力的なまち
を目指す

洛西ニュータウンに訪れたいくなる・ 住みたいくなるための取組

魅力向上による若年ファミリー層の呼び込み・定住促進と地域の魅力づくり・情報発信

魅力向上
(方針3)

情報発信
(方針4)

将来展望
(方針5)

次世代に引き継ぐことのできる洛西ニュータウンへ

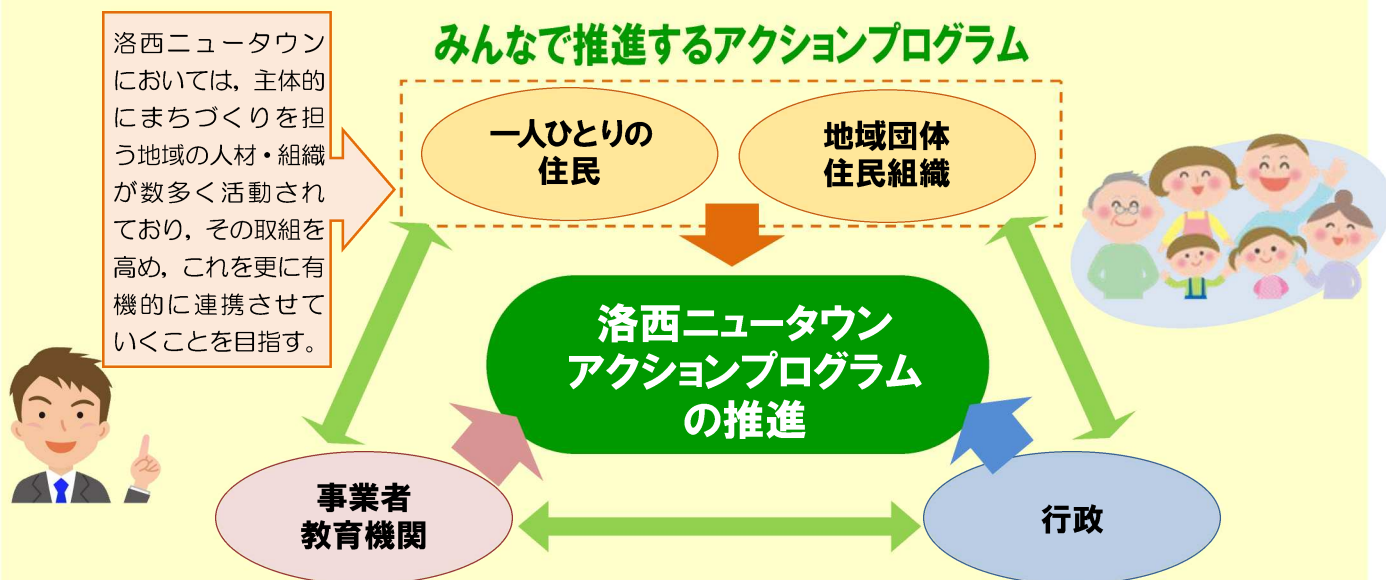
Ⅳ 取り組んでいく方針・テーマなど

方 針	テーマ	主なアクションプログラム・取組
1 若者・子育て世代を始めとした各世代が住みやすいニュータウンの基盤づくり ～誰もが住みたくなる「子ども安心・健康長寿」のまちへ～	1 多様な主体による子育て・医療・福祉の機能の充実と連携促進 2 洛西ニュータウン住宅流通促進システムの構築 3 良好な住宅地景観・住環境を守るための地域活動の推進 	○ 市営住宅子育て世帯向けリノベーション ○ 公営住宅における子育て世帯向け住宅の供給 ○ 子育て環境、医療、高齢者福祉の充実化に向けた連携推進 ○ 子育て支援情報発信拠点の設置 ○ 医療福祉拠点機能の誘致及び生活支援サービスの提供体制の整備 ○ 住宅流通促進の様々な取組 ○ 洛西ニュータウンの優れた住宅・住環境の情報発信 ○ まちの変化に対応し、まちの景観を適切に誘導するための住民参加の仕組み ○ 住宅地内の景観保全と「緑のあるライフスタイル」の推進
2 生活・福祉など居住魅力を高めるサービスの向上 ～若年層の定住とまちの魅力向上に資する子育て環境の創出～ ～高齢者や障害者もみんなが生き活きと住みやすいまちづくり～ ～新しい「働くスタイル」の創出～	4 安心して子育てのできる子育て支援サービスの充実 5 子ども達が健やかに育つ環境や学びの機会・魅力づくり 6 子育て中のママ・パパが持つスキルを社会とつなげる仕組みづくり 7 高齢者・障害者に住みやすいまちづくり、生きがいづくり 8 高齢者を始め地域住民がニュータウン内で働ける機会・場づくり 	○ 託児サービス事業の実施 ○ 子育て支援団体等と子育てファミリーのマッチングイベント開催 ○ 子どものセーフティネット活動の拡大に向けた勉強会の開催 ○ 高等教育・研究機関と小中学・高校との連携による教育プログラム提供 ○ 様々なスキルを持つ子育て中のパパママや高齢者がNT内で働ける場・仕組みづくり ○ 高齢者の「居場所」となる既存施設等の活用検討 ○ 障害や障害者に対する正しい理解につながる啓発活動の展開 ○ 認知症の人を支える人材育成、認知症に関する啓発活動の展開 ○ 高齢者・障害者の地域での生活を支える情報発信等
3 洛西ニュータウンの魅力充実と交流人口の呼び込み ～小畑川を始めとして、水・緑・まちの魅力充実～	9 洛西ニュータウンや周辺地域の魅力を活かした交流拠点機能の充実 10 緑豊かな公園の再生と新たな魅力創生による憩い・遊びの空間づくり 11 生物多様性に配慮したまちづくり 12 サブセンターの有効活用 	○ 宿泊機能（ホテル）の誘致 ○ 観光案内機能の充実 ○ 地元産農産物等の販売拠点の充実 ○ ニュータウン内の新たな夜の賑わいづくり ○ 地域の魅力を発信する観光プログラムの検討 ○ 新たな観光プログラムの開発、観光・散策ルートの検討 ○ 阪急高架下Pと連携したNTへの交流人口呼び込みの取組 ○ 小畑川公園等再整備・竹林公園(仮称)子どもの楽園整備・プレイパーク事業 ○ 魅力ある公園再整備、緑の適切な管理
4 イメージ戦略も含めた仕掛けづくりと多様なメディアによるニュータウン情報の発信 ～訴求力の高い情報発信による洛西NTブランドのマネジメント～	13 魅力があり住みよいまち、洛西ニュータウンのイメージ戦略 14 ポータルサイトやまちづくり通信などによる情報発信 	○ 洛西ニュータウンのイメージづくり・ブランド化戦略の構築 ○ ニュータウンへの流入促進につながるPR活動の推進 ○ 洛西ニュータウンの暮らし・イベント情報等の発信 ○ ニュータウン以外の人にも活用してもらえる情報の発信 ○ まちづくり通信等によるニュータウン内の情報発信

方 針	テーマ	主なアクションプログラム・取組
5 洛西ニュータウンの将来を展望した更なる活性化に向けた検討	15 洛西ニュータウンの将来を展望した更なる活性化に向けた検討 	【将来のための更なる取組の検討】 ○ 児童数・生徒数減少への対応と小中一貫教育の推進や先進的な学校づくりの検討 ○ 新たな公共交通システムの検討 ○ 市営住宅団地再生の検討 ○ 住まいの近くで働ける場づくりの検討

V 推進体制

みんなで推進するアクションプログラム



一人ひとりの住民や地域団体、住民組織、地域に立地する事業者、教育機関、行政など、洛西ニュータウンに関わる全ての主体がそれぞれの役割を持って、共に連携・協働して取り組むものです。

1 アクションプログラムの進行管理等を行う「推進会議」の設立

アクションプログラムの進行管理等を行うための、行政と地域の団体や事業者等が参加する「推進会議」を設立します。

2 アクションプログラム推進のための住民主体の取組の支援

地域主体の取組の初動期や活動のステップアップを支援する助成制度を創設します。

3 アクションプログラムの各事業の実施をサポートするまちづくり組織（まちづくり会社）の設立

各種の事業を実施するために必要な人的サポートや団体間のコーディネートなどを行う組織の設立を検討します。

策定：洛西ニュータウンアクションプログラム検討会

事務局 京都市都市計画局都市企画部都市総務課（ニュータウン企画調整担当）

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地

電話 075-222-3610 F A X 075-222-3689 メール toshisomu@city.kyoto.lg.jp